

優良住宅部品「BL」認定

ブース形(深形)レンジフードファン(換気ユニットレンジ用フードファン)

形名

V-603K4-BL	V-6037K4-BL	V-6037K4-BL5	V-6037K4-BL6
V-603KL4-BL	V-6037KL4-BL	V-6037KL4-BL5	V-6037KL4-BL6
V-604K4-BL	V-6047K4-BL	V-6047K4-BL5	V-6047K4-BL6
V-604KL4-BL	V-6047KL4-BL	V-6047KL4-BL5	V-6047KL4-BL6
V-6037KLR4-BL	V-6047KLR4-BL		

## 取付工事説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に、必ずこの取付工事説明書をお読みください。

取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

- 本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限(内装材の制限、可燃物との距離の制限、ジャバラの使用など)がありますので、詳細は行政官庁または、消防署にお問い合わせください。
- 接続ダクトはφ150の鋼板管・スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。












■別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

## 安全のために必ず守ること





誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

- 警告** 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
- 注意** 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

### 警告

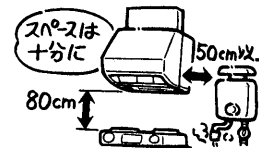
	交流100V以外では使用しない		メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に取付ける場合、本体とメタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板とが電氣的に接触しないように取付ける
	製品を水につけたり、水をかけたりしない		漏電した場合発火の原因になります。
	ショートや感電の原因になります。		アースを確実に取付ける 故障や漏電した場合感電の原因になります。
	分解・修理はしない		ランプを交換するときやお手入れの際は電源プラグを抜くか、分電盤ブレーカーを切る 感電やけがの原因になります。
	火災や感電の原因になります。		
			
	火災・感電・けがの原因になります。		

## 注意

	指定以外のランプを使用しない ランプの周辺が高温になり、やけどの原因になります。		部品の取付けは確実に 落下によりけがの原因になります。
	直接水がかかる場所や湿気の多い場所には取付けない 感電や故障の原因になります。		配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
	本体の取付工事は十分強度のある所を選んで確実に 落下によりけがの原因になります。		取付けの際は、手袋を着用する けがの原因になります。

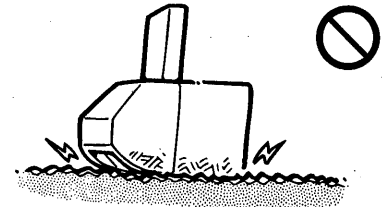
## お願い

下図の寸法を守る  
(本体の下端からガスレンジまでは80cm以上必要です)



(モーター故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生となります)

直接コンクリートなど、傷のつきやすいものうえには置かない

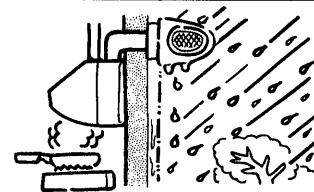


### ダクト工事

- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつける。先端に屋外フード(システム部材)などを取付けることをおすすめします。また、屋外フードはメンテナンスができる位置に取付けてください。
- 次のようなダクト工事はしない。(風量低下や異常音発生の原因になります)
  - 極端な曲げ
  - 多数の曲げ
  - 吐出口のすぐそばでの曲げ
  - しぼり

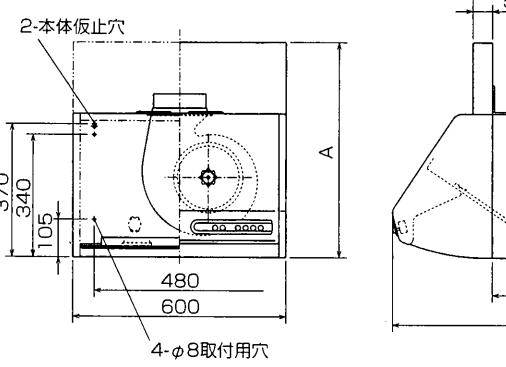
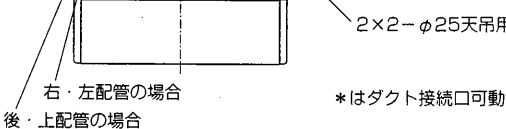
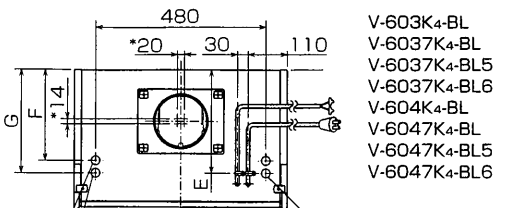
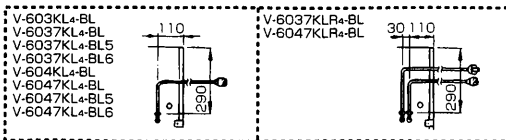


- システム部材の選定には圧損の少ないものを使用してください。(製品性能が得られないことがあります)



- 排気ダクトの先端には条件に合ったシステム部材をご用意してあります、ご利用ください。
- 鳥などの侵入防止にベントキャップ
  - 雨水の浸入防止に深形フード
  - 吹き上げが強いところには耐外風高性能フードをおすすめします。

# 外形寸法図



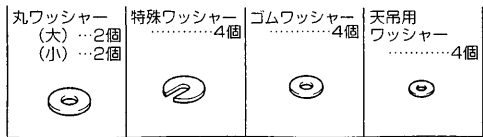
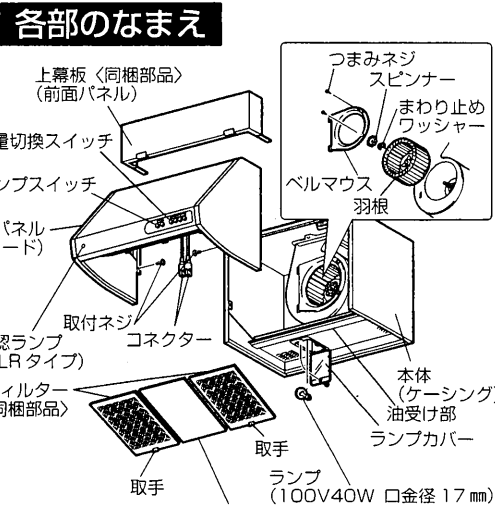
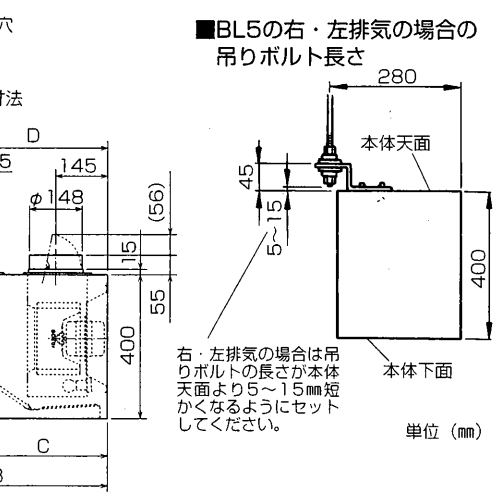
### 付属部品

●下記の付属部品があります。

L金具……………2個	上幕板取付金具……………2個	チョウボルト……………2本
角ワッシャー……………4個	天吊金具……………2個 (BL5用)	ワッシャー……………2個 (BL5用)
ネジ……………8本	木ネジ (大) ……4本 (小) ……2本	M5ネジ……………4本 (BL5用)

単位 (mm)

形名	A	B	C	D	E	F	G
V-603K4-BL	600	650	370	400	290	255	290
V-6037K4-BL	700	650	370	400 ~450 (350 ~375 も可能)	290	255	290
V-604K4-BL	700	550	270	300 ~350	190	240	280
V-6047K4-BL	700	600	320	350 ~400	240	255	290



パッフル板 (穴なし)  
(中央部に取付けないと油煙等の捕集効果を損ないます。)

ダクト接続口  
(同梱部品)

※図はV-603K4-BLを示します。

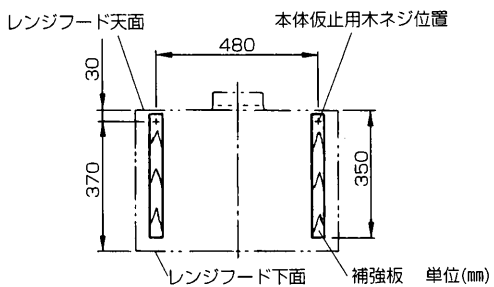
# 取付方法

本体の取付けには、天井取付けと壁取付けがあります。  
この製品は上部直排方式となっていますので排気方向は後・左・右自由に選択できます。

■配管スペースがない場合で排気方向を後・左・右に変更するときはシステム部材の排気アタッチメント (P-60MA3) をご使用ください。

## 1 取付け前の準備

本体を取付ける前にダクト配管・取付壁の準備をします。



### 板張りの場合

- 板厚20mm以上の場合は直接壁に取付ける。  
20mm以下の場合は20mm以上になるよう補強板を取付ける。

### コンクリート、タイル、土壁の場合

- 新築の場合はあらかじめ補強板を壁に埋め込む。
- 既築の場合はコンクリートビスなどを利用するか補強板を固定して取付ける。  
(補強板が壁面より露出することになりますのでレンジフードファンは壁に密着しません。)

### お願い

- 新築・既築により準備が異なりますがいずれの場合も十分強度をもたせてください。

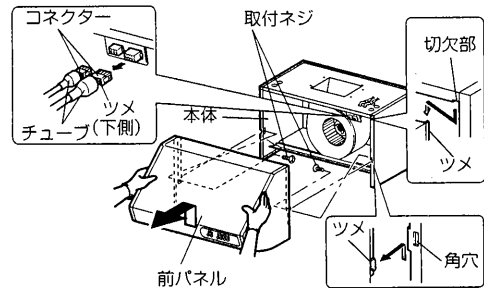
### 天吊ボルト

- 天井取付けの場合は外形寸法図を参照して天吊用穴位置にあらかじめ市販の吊りボルト (M8) 2本を埋め込む。

### ダクト配管

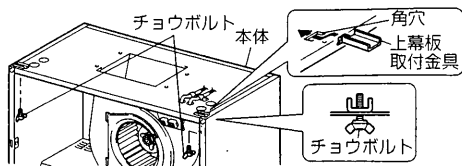
- 壁穴をあけてその中にφ150のダクト (鋼板管・スパイラルダクト) を配管し、その周囲の仕上げを行う。

## 2 前パネルをはずす



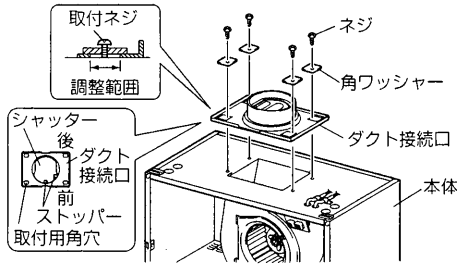
- 1 レンジフード内の右上にあるコネクターのチューブをずらし、コネクターの下側にあるツメを押さえながらコネクターを引き抜く。
- 2 レンジフード内の両側にある取付ネジをはずす。
- 3 前パネルの下側を少し上に持ち上げるように手前に引いて、本体から取りはずす。

### 3 上幕板取付金具を仮止めする



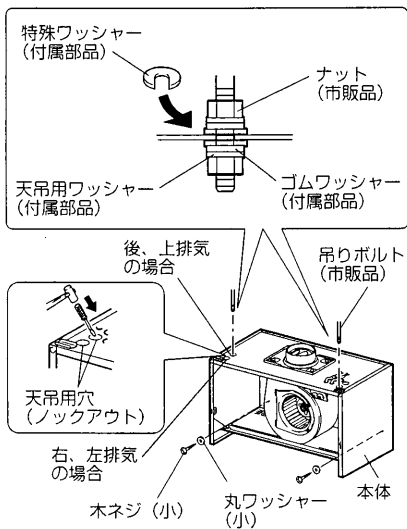
- 上幕板取付金具の引掛部を本体角穴に差し込み、本体内部からチョウボルトで仮止めする。

### 4 ダクト接続口を仮取付けする



- 図のように必ずストッパーを前にして取付ける。
- ダクト接続口の取付用角穴が本体の取付穴の中心になるように付属のネジ・角ワッシャー（各4個）で仮取付けする。

### 5 天井/壁に取付ける

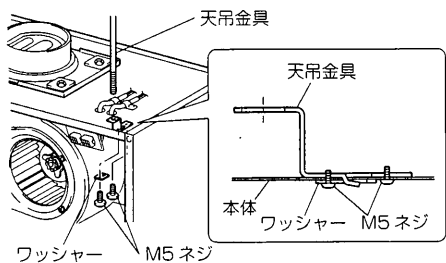


#### ■天井取付けの場合

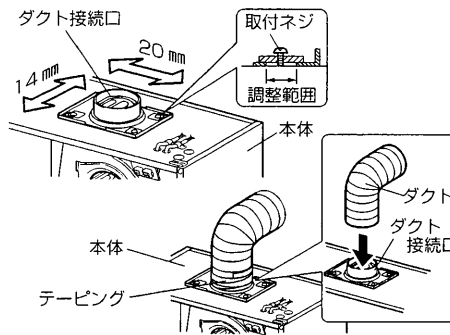
- 1 外形寸法図を参照して、排気方向と天吊用穴位置を確認後、吊りボルトを埋め込み、ナット（市販品4個）と付属の天吊用ワッシャー、ゴムワッシャー（各4個）を取付けておく。
- 右または左に排気する場合は、前側の天吊用穴を使用する。
- 2 本体の天吊用穴（2か所）のノックアウトをハンマーやドライバーなどを使用して打ち抜く。
- 3 本体を吊りボルトに吊し、付属の特殊ワッシャー（4個）を差し込む。
- 4 左図のように付属の特殊ワッシャー、ゴムワッシャー、天吊用ワッシャーを介してナット（市販品）で固定する。
- 5 本体内部より壁面に向けて付属の丸ワッシャー（小）と木ネジ（小）2本で本体を固定する。

#### ■-BL5タイプを右または左に排気する場合

- 1 本体の天吊用穴のノックアウトをハンマーやドライバーなどを使用して打ち抜き、天吊金具の引掛部を引掛け本体内部からネジ止めする。
- 2 本体内部からワッシャーの角穴を天吊金具の引掛部に合わせM5ネジで固定する。



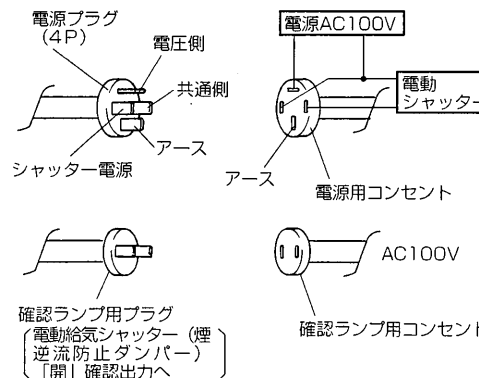
### 6 ダクト工事



#### ■壁取付けの場合

- 1 付属の木ネジ（大）を壁面と水平になるように図のように仮取付けする。（2か所）
- 2 本体を木ネジに引掛ける。
- 3 傾きのないように本体内部から壁面に向けて付属の丸ワッシャー（大・小）と木ネジ（大・小）で図のように本体4か所を固定する。

### 7 電気工事



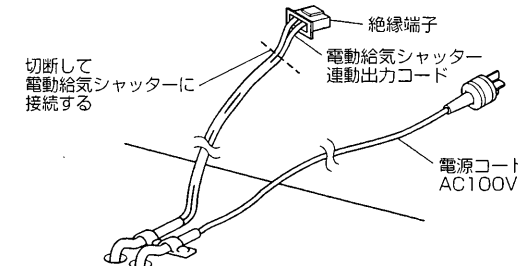
電源プラグと同形のコンセントを設けて電源プラグを差し込む。  
（機種によりプラグの形状が異なります）

#### ■V-6037KLR<sub>4</sub>-BL、V-6047KLR<sub>4</sub>-BLの場合

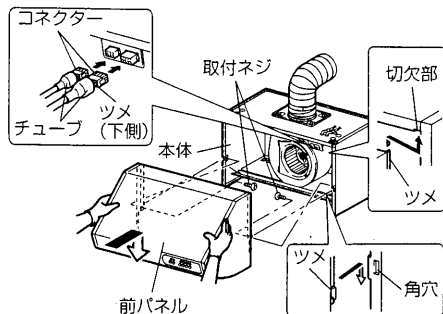
- 図のように電源用および確認用のプラグと同形のコンセントを設けて、それぞれのプラグを差し込む。

**結線要領** 電動給気シャッターを使用する場合は、下図に従って結線します。

- V-603K<sub>4</sub>-BL V-604K<sub>4</sub>-BL
- V-6037K<sub>4</sub>-BL V-6047K<sub>4</sub>-BL
- V-6037K<sub>4</sub>-BL5 V-6047K<sub>4</sub>-BL5
- V-6037K<sub>4</sub>-BL6 V-6047K<sub>4</sub>-BL6



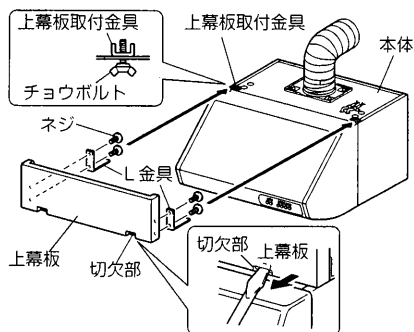
## 8 前パネルの取付け



- 1 前パネル上部のツメを本体切欠部に引掛ける。
- 2 前パネル下部のツメを本体下部の角穴に押し込み、下に下げる。
- 3 前パネルと本体の両側を本体内部から図のようにはずした取付ネジ2本で固定する。
- 4 前パネルのコネクタを本体にカチッと音がするまで差し込み接続する。

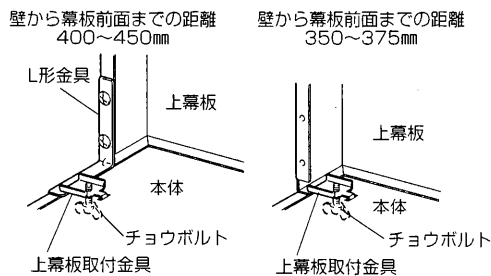
●はずれないことを確認して、チューブをかぶせる。

## 9 上幕板の取付け



- 1 上幕板にL金具を付属のネジ（各2本）で固定する。
  - BLタイプで上幕板位置を壁から350mm～375mmにする場合は、L金具を取付けないでください。
- 2 上幕板を本体と上幕板取付金具にはさむようにして、前側からスライドさせる。
- 3 吊り戸棚に合わせて、上幕板の前後方向の位置を決め、仮止めしたチョウボルトで締め付け固定する。
  - 奥に入りすぎた場合は、上幕板の切欠部にマイナスドライバーなどを引掛けて前に引き出す。

### BLタイプの取付けかた



## 10 フィルター・バッフル板の取付け



バッフル板とフィルターを本体に取付ける。

- ①バッフル板は上部を差し込み、下側をはめ込む。

### お願い

●バッフル板は必ず中央になるように取付ける。  
(捕集効果を高めるために必要です)



- ②フィルターの取手を持ち、上部を差し込み、下側をはめ込む。

■取付工事終了後、試運転の前にチェック表にしたがって点検します。

## 取付工事後の確認と試運転

### 1 取付工事後の確認

■取付工事終了後、試運転の前にチェック表にしたがって点検します。

■不具合があった場合は必ず直してください。

(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)

### ■チェック表

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
取 付 工 事	本体の取付強度は十分ですか？		
	本体は確実に固定されていますか？	本体を確実に固定します	
	ランプはゆるんでいませんか？	ランプを確実に取付けます	
	レンジフード内のコネクタが「カチン」と音がするまで確実に差し込まれていますか？	コネクタを確実に差し込みます	
試 運 転	電圧は100Vですか？	100Vに直します (異電圧を印加すると製品が破損します)	
	4Pプラグの差込側（コンセント側）の配線は正しいですか？ (4Pプラグ使用機種のみ)	差込側（コンセント側）の配線に誤りがあると、別紙（チラシ）のような現象が発生します 配線を正しくやり直します	
	ランプスイッチ「入」を押すとランプが点灯しますか？	誤結線です 配線を正しくやり直します	
	風量切換スイッチを押して風量が切り換わりますか？	誤結線です 配線を正しくやり直します	
	連動給気シャッターを接続している場合、 風量切換スイッチに連動して動作しますか？	誤結線です 配線を正しくやり直します	
	確認ランプが点灯しますか？ (KLRタイプのみ)	誤結線です 配線を正しくやり直します	
	それぞれの風量で運転した場合、振動や異常音がありませんか？		

### ■3Pプラグ差込側誤結線による不具合現象

現 象	原 因	処 置
ランプスイッチ「入」を押してもランプが点灯しない	アースと電源線の配線間違い	結線図に従って結線をしなおす
風量切換スイッチを押してもファンが回らない		

※ 4Pプラグ差込側誤結線による不具合現象については別紙（チラシ）を参照してください

■試運転後、天井および壁などに内装用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体の保護のために保護材で覆ってください。

**三菱電機株式会社**

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。